



翔け！ 多久高校

Vol 11

School Topics



■問い合わせ 佐賀県立多久高等学校 ☎75-3191

卓球部 (男子・女子)

市内唯一の県立高校「多久高校」にスポットを当て、部活動や学校行事を紹介している翔け！多久高校。今月号では、部員総勢14人の卓球部に密着取材しました。



▲チーム一丸となって総体に向けて練習に励む部員のみなさん

練習は週に6日、学校内の卓球場で行い、フォアとバックのラリーに始まり、下への回転を加えた『ツッツキ』、フォアドライブ、バックドライブなど各5分間ペアを組んで交互にウォーミングアップを行います。その後、レシーブを攻撃する『三球目』という攻撃練習やダブルスの試合を行います。現在は、来たる高校総体に向けて、部員一丸となって実践練習に励んでいます。

男子部員紹介

卓球部男子は、部員10人(3年生…1人、2年生…5人、1年生…4人)で、部をまとめるのは主将の加茂翔悟さん(3年生)です。



▶フォアやバックなどラリー練習に励む部員。試合でも重要な基礎です。



▶(左から)1年生の宮島竜二さん、小副川航さん「先輩に追い付け追い越せ!!」

男子主将の加茂さん



「先輩、後輩関係なく和気あいあい楽しく練習できる雰囲気づくり、部員と積極的にコミュニケーションをとり、それぞれの課題をクリアできるよう心がけています。

3年生として練習メニューを考え、部員をまとめる苦労はありますが、総体では、それぞれ持てる力を十二分に発揮したいです」と意気込みを語ります。

女子部員紹介

卓球部女子は、部員4人(3年生…2人、2年生…1人、1年生…1人)で、部をまとめるのは主将の富田ひかるさん(3年生)です。



▲目指せ!!団体ベスト8!!

部員は少ないですが、チームワークで頑張っています。

▶2年生から卓球を始めた森裕美さん(3年)



▶期待の新人森巴音さん(1年)



▶多久中央校出身の柴田若奈さん(2年)



▶女子主将の富田さん(3年)



少しでもラケットを握らないと練習しにくくなります。地元相知町の夜の練習にも参加しています

男子顧問の桑原勝彦先生は「卓球のラリーは、攻撃力だけでは勝てません。自分の持ち味を出しながら、相手との駆け引きの中で戦い、精神的に強くなければいけないスポーツです」と生徒に指導しています。



▲男子顧問の桑原先生

また、女子顧問の森永茂先生は「美フォームで美しく振る舞い、普段の力を出せば、高校総体でも上位に食い込める」と意気込みを語りました。総合顧問の山口浩先生は「One for all, all for one(ひとはみんなのために、みんなはひとりのために)」と卓球を通じて精神的にも強く成長してほしい」と話されました。

先生の話の中で、卓球はネットを挟むため接触プレーがないので、ケガをしにくく、高齢になっても続けられるスポーツと紹介されました。現在では、ラージボールという少し大きめのボールもあり、高齢者にも人気があるスポーツです。また、プレーを通じて、精神的にも鍛えられ、プレーのテクニックは歳を重ねるごとに「上手さ」が出てきます。

卓球部は、3人の顧問の先生たちの熱い思いの中で、日々練習に精進し、各々の目標に向かって頑張っています。